

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 10 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200320		
法人名	有限会社メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム南観音ひまわり		
所在地	広島市西区南観音6丁目3-31 (電話) 082-295-3717		
自己評価作成日	令和7年9月12日	評価結果市町受理日	令和7年11月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和7年10月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

比較的静かな環境の住宅街に立地しており、近くには小学校があり、行事などにも参加して子供達とも楽しい交流があります。（オータムコンサート、とんど祭り）地域との交流もあり、公民館祭りに参加したり、子供神輿などもあり楽しみにしておられます。近隣の他の事業所とも盛んに交流があり行事などお互いの施設に伺って参加させて頂いております。この度3事業所参加で合同避難訓練（炊き出し訓練）を実施しました。地域と協力し災害対策を行っております。また、法人内のイベント（三滝老健フェス）にご家族様と一緒に参加され楽しい時間を共に過ごされました。令和7年7月よりインスタグラムを開始致しました。ご家族様もリアルタイムで様子が伝わりとても楽しみにされています。母体が医療法人であることから入居者様の体調管理や相談など連携を図ってすぐに対応出来るようにしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は近隣の認知症カフェ、地域包括支援センター主催の観音認知症応援団に毎月参加協力し、利用者は地域のとんど祭りや縮景園等、季節の外出行事等で外出している。家族の面会、近隣の小規模多機能型事業所等の運営推進会議への参加、事業所夏祭りに地域住民・ボランティアの来訪等、地域交流をしている。夜間想定を含む所定の避難訓練を毎月実施すると共にBCP（業務継続計画）に基づき、小規模多機能型事業所と合同で被災想定炊き出し訓練を実施し地域連携を深めている。毎日の献立は職員による3食手作りであり、家族の要望で利用者と外食ができるよう事業所や系列施設で食事介助の体験実習をした例がある。全利用者に対し母体病院のリハビリ職員が毎月来訪、買い物外出等、具体的な生活機能の維持・改善に繋がる様支援している。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎年、職員にアンケートをお願いし法人の理念以外にもグループホームでのケア目標を作成している。毎朝、朝礼時に唱和をし理念自体の重要性について一人ひとりに指導を行っている。	母体医療法人理念・グループ会社理念・事業所ケア目標を掲示、朝礼で唱和し、意識付けを図っている。ケア目標は職員アンケートで毎年策定し、年度末に振り返り次年度に繋げている。職員も理念に沿った年間目標を設定し、管理者との半期毎の個人面談で達成度を検証している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校の登下校時にテラスでの声掛け、挨拶を行ったり散歩中の住民の方に声を掛けてお話しされたりする。散歩コースの公園にはたくさんの子供達に会い日常生活を感じられる。公園の清掃も行っている。	事業所は町内会に加入し、職員は地域清掃や近隣の認知症カフェに協力、利用者は買い物・地域のとんど祭りや縮景園等、季節の外出行事、家族と受診・自宅等へ外出している。家族の面会、町内会長等の運営推進会議への参加、事業所の夏祭りに地域住民・ボランティアの来訪もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	観音地域包括支援センターが主催する「観音認知症応援団」に毎月参加し地域住民を招いて年2回の講演会を開催している。近隣の認知症カフェにてグループホームについての説明や相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催しご家族様、入居者様、町内会長、地域推進員、地域包括の方、近隣の施設の方にご参加して頂き情報を共有してご意見を頂いている。グループホームでの行事運営にご家族様が直接関わって頂くようお願いし家族同士での交流を図るように努めている。	会議は隔月開催の対面会議で利用者・家族代表・町内会長・地域推進員・近隣の小規模多機能型事業所・地域包括支援センター職員等が参加し、行事・身体拘束・虐待防止状況・事故分析報告や質疑応答等を行っている。全家族に会議録を送付し、運営情報の共有に努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加し、地域支えあい課の担当者様と連携しながら情報交換を行っている。運営推進会議の報告も行っている。	地域包括支援センターとは運営推進会議での情報共有や毎月行う同センター主催の観音認知症応援団活動、今年度から参加している近隣の認知症カフェで連携している。地域支えあい課担当者とは日頃から相談や報告、行政主催の集団指導研修会へのオンライン参加等で協力関係の構築を図っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>関連法人グループにて年2回の身体拘束に関する研修を行っており、グループホーム内でも年2回勉強会を行っている。特に言葉による拘束について具体的に言葉を挙げ職員と話し合い意識向上に努めている。</p>	<p>研修会等を通して職員は拘束をしない必要性を認識し具体的なケアの中で実践を重ねている。関連法人グループで各事業所の拘束状況を定期的に検証し、運営推進会議の中で拘束例はない旨を報告している。必要に応じて夜間人感センサー等を設置し拘束廃止に向けた側面支援を行っている。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年2回の虐待に関する研修を行っている。職員の入居者様への言動の変化にも注意し、目上の方の尊敬の念を意識する為、朝礼時にも唱和している。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人内の勉強会、グループホームでの勉強会に参加し権利擁護に関する内容を学び意識している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者、法人在宅事業部マネージャーを交えて説明を行っている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設入り口に意見箱を設置している。ご家族様とメールのやり取りも行っており、ご家族様のご意見を伝えやすくしている。面会に来られたご家族様へ話しやすい雰囲気を作り要望があれば書類にしてカンファレンスやサービス向上委員会にて話し合い原因追及、再発防止に努めている。</p>	<p>家族とは面会時・電話連絡時・メール・運営推進会議・法人のサービス向上委員会による家族アンケート等で管理者を中心に意見を把握する様に努めており、職員は介護記録等で情報共有をしている。家族が利用者と外食ができるよう事業所や系列施設で食事介助の体験実習をした例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回必ずスタッフ会議を行っている。欠席者については事前に書類参加にて意見を出してもらっている。会議の内容については迅速に書類にて回覧している。	毎月の全体会議、申し送り、管理者他との年2回の個別面談や日々の聞き取り等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や職員目標の実現に対する支援体制を採っている。職員提案により、家族が利用者の近況を把握できる様今年の7月よりインスタグラムを開設した経緯がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回人事考課を実施している。前年度の反省を基に個人目標について面接を行っている。職員の意見を聞いて対応している。法人内で月1回CAT委員会に参加しており、スタッフ会議で話し合われた業務の効率化や職員の休憩時間確保や勤務条件の配慮等を検討している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に参加するように職員へ促し、参加した場合は報告書にて他の職員にフィードバックしている。また、職員研修用にeラーニングにて全員が視聴している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣の施設との合同避難訓練（BCP合同訓練）を企画し実施する。お互いの行事に参加したりイベントなど紹介し交流を図っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様の生活状況を把握し、入居者様の訴えを可能な限り傾聴し、ご本人様が求めている事や不安を理解しようと職員全体に周知できるように連絡ノートや情報共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談、契約時にご家族様に入居者様の生活状況やご家族様の悩み、不安などを傾聴し日常生活を安心して過ごしていただけるようにご説明し納得して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様、ご家族様の希望されている事を知る為にもこまめな連絡、報告を行い、お考えや思いを理解して可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の尊厳を尊重し信頼関係を深めている。料理を教えていただいたり、地域の方言やそれまで暮らしてこられた生活感など話して頂きケアの工夫に繋げている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の近況を毎月のお手紙で報告したり行事に直接参加して頂きご家族同士での交流も図っている。インスタグラムを開始してリアルタイムでの情報を発信している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方が面会に来られるようにご家族様にお伺いしたり、手紙のやり取りもおこなっている。電話やオンライン面会にも対応している。	現在は居室等での面会が可能である。公民館まつり等、地域行事やとんど祭り等、季節の外出行事や家族協力で自宅等へ外出している。家族との電話・年賀状のやり取りや今年の7月より開設したインスタグラム等を通して、馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様と一緒に過ごして頂けるように配慮している。グループレクリエーション(トランプなど)集団レクリエーション(歌、風船バレーなど)を一人ひとりに合わせ関りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後についても入居者様、ご家族様の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに寄り添いながらコミュニケーションを図っている。ご本人様の意向をしっかりと受け止め、意思疎通が困難な方にはご家族様も含めた意向の把握に努め情報収集を行っている。	利用者毎に担当者を決め、その方に深く関わりを持つことで思いを汲み取り介護計画に反映する等、思いの共有に努めている。気分の落ち込みがある利用者が昔お茶を立てていたという家族の話から、新茶の季節に抹茶を立ててもらい、和菓子も添えて皆に提供することで、本人の自信に繋がった例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様、ご家族様、以前の入居施設などご本人様をよく知る方からの情報を頂きグループホームでの生活に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの過ごし方は行動、言動、体調管理の記録を細目に行い職員間で把握している。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>1ヶ月から3ヶ月毎に見直しを行っている。カンファレンスを実施し、入居者様のニーズに合った計画を立てている。ご家族様のご意見やご要望を反映している。廿日市野村病院から理学療法士が毎月訪問し入居者様の個別に状態確認を行いその方に合った運動や体操のアドバイスを頂いている。</p>	<p>介護計画の実施状況を計画作成担当者が1～3ヶ月を基本に集約して計画を見直している。立案の視点として馴染みのある事が継続できる生活作りを支援している。全利用者に対し母体病院のリハビリ職員が毎月来訪して買い物外出等、具体的な生活機能の維持・改善に繋がる様支援している。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者様個人のファイルがあり、ご本人の発言や行動記録、ケアプランに沿ってケアの実践、その日の職員間での気づきを記録、報告しカンファレンスに活用し介護計画（ケアプラン）に活かしている。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様の状態やご家族様の意向に配慮しながら臨機応変に対応している。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の施設との交流や町内の行事、小学校の行事参加をおこなっている。地域包括支援センターから認知症カフェの情報を頂き協力関係を築いている。</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>1週間から1ヶ月に1回定期健診を行っている。主治医には経過を報告し、ご希望のご家族様には付き添いをして頂き直接主治医からご説明して頂いている。</p>	<p>利用開始前のかかりつけ医の受診継続も可能だが全ての利用者は系列の協力医療機関に週1回から月1回の定期受診をしている。協力歯科医から適宜往診もある。専門医の受診は家族の協力も得ながら行い法人系列の訪問看護からも利用者の健康管理について適宜協力・支援を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から看護職員と介護職員の関係を密にしている。1ヶ月に1回協力医療関係のドクターと会議を行っており、日々のケアについての相談をしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によるダメージを極力防ぐため、入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。また、ご家族様にも回復状況などの情報交換しながら退院支援に繋げている。退院前のカンファレンスなどにも参加し退院後のスムーズな支援ができるように努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者様、ご家族様のご意向を踏まえ、主治医、看護職、訪問看護師との連携をとり対応できるケアについて説明を行っている。	要望があれば看取りを行う方針である。契約時に「看取りに関する指針」を説明し了解を得ている。重度化した際には家族・かかりつけ医・訪問看護師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。マニュアルも整備され、看取り対応可能な体制を構築している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応について初期対応や応急手当の勉強会を行い対応に備えている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアル作成し夜間想定、日勤想定の訓練を毎月行っている。地域と連携し近隣の施設と合同避難訓練を実施している。	夜間想定を含む所定の避難訓練を毎月実施している。事業所は大雨時の浸水想定区域に該当しており、階段での垂直避難訓練等も実施し周知徹底を図っている。BCP（業務継続計画）を策定し、近隣の小規模多機能型事業所と合同で被災を想定した炊き出し訓練を実施した経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご本人様の気持ちを大切に考え、さりげない声掛けを心掛け、分かりやすい言葉を用いて自己決定しやすい声掛けをするように努めている。法人内のサービス向上委員会に出席し言葉掛けの話し合いを行い職員に周知している。「目線を合わせて丁寧な言葉使い」を今期のテーマとしてグループホーム内で取り組んでいる。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への言葉かけも法人のサービス向上委員会の期別のテーマに沿って意識付けを図っている。今夏開設のインスタグラムの動画についても事前に法人の総務部長が個人情報等について確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	細かな事でも複数の選択肢を提案して入居者様が自己決定できる場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の体調やお気持ちを尊重しそれに合わせ対応に心掛けている。散歩・ドライブ・好きな歌・DVD視聴・体操等工夫している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自己決定がしにくい入居者様には職員と一緒に考えてご本人様の気持ちに沿った支援を心掛けている。訪問美容で希望に添ったカットや毛染めをしてもらうように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けを職員と一緒にやっている。季節の野菜を使ったメニュー等を一緒に考えていただいたり、どのように調理すればいいか伺いながら進めている。	毎日の献立は食の好みも勘案し職員による3食手作りである。事業所の畑で採れた野菜を活用したり、誕生日に好きな苺ケーキの提供、毎月のおやつ作り等、楽しみとなる工夫もある。利用者は調理方法の助言等、役割に応じた手伝いをしたり、利用者に応じた個別テーブルを導入する事もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	1日を通して手作りによるバランスの良 い食事を提供し、記録する事で職員間で 把握している。一人ひとりに合わせた食 事形態を提供している。水分摂取が少な い方については1日の水分トータル量を 記録し職員間で必要量を把握し意識付け を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分 でできる方には声掛けを行い、難しい方 には介助にて実践している。また、必要 に応じて歯科往診や1ヶ月に1回の歯科衛 生士の訪問を依頼して指導を頂きながら 適切なケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄リズムを行動や仕草で 確認し、食前食後以外にも様子観察、見 守りをするべく自立した排泄をして 頂けるように支援している。夜間の排泄 を記録し職員で話し合い排泄の適切な時 間で声掛けができるように努めている。	排泄管理表でパターンを把握しトイレ誘 導を基本としている。排泄時の転倒防止 の為、必要に応じて居室に人感センサー 等を設置したり、トイレで排泄困難だっ たが、声掛け誘導で1か月モニタリング してトイレでの排泄に繋げることが出来 た等、状態に合わせた自立支援を行って いる。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排便の確認を行っている。便秘気 味の方には食事や水分に注意し体操など 取り入れている。水分摂取量の少ない方 には、好きな飲み物やスポーツ飲料の ゼリーを作り提供している。また、毎日 のラジオ体操や入居者様一人ひとりに 応じたりハビリのプランがあり運動も行っ ている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	日勤帯ではあるが、入居者様のタイミン グで入浴して頂くようにしている。冬季 は特に脱衣所の温度管理に注意してい る。入居者様の既往歴などを考慮し入浴 時間を調整している。	週2～3回、日勤帯での入浴が基本だ が、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、 柔軟に対応している。据え置き型浴槽で の個人浴が基本だが、利用者の状態によ りシャワー浴・足浴等で対応すること もある。保湿剤での皮膚管理、冬至に柚子 湯に浸かる等、入浴を楽しめる工夫をし ている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングにソファ等置き休息できるようにしている。テラスやベランダでも気持ちよく過ごせるように椅子やテーブルを配置している。馴染みのある寝具やクッションなどご家族様に相談して安心して入眠して頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるように表を作成している。日付、名前を2重、3重に確認して服用して頂き変更があれば、その都度更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの嬉しい事や楽しい事をお聞きしてお好きな事をして頂いている。役割についても分担して無理なくして頂いている。食器洗い等食事の後片付け、洗濯物たたみ等それぞれに役割がある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者のご要望で散歩やドライブに出掛けている。馴染みのある場所に行かれたり、法人内のイベントに介護タクシーを手配しご家族様と一緒に出掛けられ楽しめる。公民館祭りにも参加し楽しめる。	利用者の希望で近隣散歩や家族の協力を受診・食事等の外出をして馴染みの関係継続に努めている。縮景園・花見ドライブ・隣接小学校の演奏会・系列施設の季節祭り・公民館祭り・港の豪華客船見物等、季節の外出行事により普段は行けないような所で「非日常」を楽しむこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様、ご家族様の希望があれば財布を預かり金庫で保管している。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様の希望があれば電話が出来るようにしている。ご家族様、ご友人様からの電話も積極的に受けている。年賀状やご友人様とのお手紙のやり取りもみられる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には日々の様子や誕生日の写真、賞状を展示し、リビングや廊下には季節が感じられるもの馴染みのあるものを展示している。	季節行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品、中庭の野菜等で季節の移ろいが感じられる様配慮し、利用者は洗濯干し・たたみを手伝う等、生活感ある空間となっている。西日が不快にならない様に遮光カーテンの設置や小学生の声が聞こえるように下校時には窓を開けるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング前にソファを置いたり、テラスやベランダにもテーブル、椅子を置き談話スペースを設けている。事務所前にも椅子を置いて職員とも話しやすい環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはご家族様にはタンス・椅子・テレビや写真など使い慣れた物を持参して頂くようお願いしている。ご主人様やご友人様の写真を置かれている。	居室にはベッド・クローゼット・洗面所等を設置し、使い慣れた物や幼馴染が面会に来た時の写真等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。利用者の中にはベッドに上がってカーテンを閉める方がいる為、家族と相談し窓からベッドを離す等配置換えを行った。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お部屋のなまえをお花や果物にしてご本人様にも分かりやすくしている。居室のタンスに衣類別の名前を貼りご本人様にも分かりやすく工夫をしている。		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎年、職員にアンケートをお願いし法人の理念以外にもグループホームでのケア目標を作成して毎朝、朝礼時に唱和をしている。また、理念自体の重要性について一人ひとりに指導している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校の登下校時にテラスでの声掛け、挨拶を行ったり散歩中の住民の方に声を掛けてお話しされたりする。散歩コースの公園にはたくさんの子供達に会い日常生活を感じられる。公園の清掃も行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	観音地域包括支援センターが主催する「観音認知症応援団」に毎月参加し地域住民を招いて年2回の講演会を開催している。近隣の認知症カフェにてグループホームについての説明や相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催しご家族様、入居者様、町内会長、地域推進員、地域包括の方、近隣の施設の方にご参加して頂き情報を共有してご意見を頂いている。グループホームでの行事運営にご家族様が直接関わって頂くようお願いし家族同士での交流を図るように努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加し、地域支えあい課の担当者様と連携しながら情報交換を行っている。運営推進会議の報告も行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>関連法人グループにて年2回の身体拘束に関する研修を行っており、グループホーム内でも年2回勉強会を行っている。特に言葉による拘束について具体的に言葉を挙げ職員と話し合い意識向上に努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年2回の虐待に関する研修を行っている。職員の入居者様への言動の変化にも注意し、目上の方の尊敬の念を意識する為、朝礼時にも唱和している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人内の勉強会、グループホームでの勉強会に参加し権利擁護に関する内容を学び意識している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者、法人在宅事業部マネージャーを交えて説明を行っている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設入り口に意見箱を設置している。ご家族様とメールのやり取りも行っており、ご家族様のご意見を伝えやすくしている。面会に来られたご家族様へ話しやすい雰囲気を作り要望があれば書類にしてカンファレンスやサービス向上委員会にて話し合い原因追及、再発防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回必ずスタッフ会議を行っている。欠席者については事前に書類参加にて意見を出してもらっている。会議の内容については迅速に書類にて回覧している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回人事考課を実施している。前年度の反省を基に個人目標について面接を行っている。職員の意見を聞いて対応している。法人内で月1回CAT委員会に参加しており、スタッフ会議で話し合われた業務の効率化や職員の休憩時間確保や勤務条件の配慮等を検討している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に参加するように職員へ促し、参加した場合は報告書にて他の職員にフィードバックしている。また、職員研修用にeラーニングにて全員が視聴している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣の施設との合同避難訓練（BCP合同訓練）を企画し実施する。お互いの行事に参加したりイベントなど紹介し交流を図っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様の生活状況を把握し、入居者様の訴えを可能な限り傾聴し、ご本人様が求めている事や不安を理解しようと職員全体に周知できるように連絡ノートや情報共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談、契約時にご家族様に入居者の生活状況やご家族様の悩み、不安などを傾聴し日常生活を安心して過ごしていただけるようにご説明し納得して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様、ご家族様の希望されている事を知る為にもこまめな連絡、報告を行い、お考えや思いを理解して可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の尊厳を尊重し信頼関係を深めている。料理を教えていただいたり、地域の方言やそれまで暮らしてこられた生活感など話して頂きケアの工夫に繋げている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の近況を毎月のお手紙で報告したり行事に直接参加して頂きご家族同士での交流も図っている。インスタグラムを開始してリアルタイムでの情報を発信している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方が面会に来られるようにご家族様にお伺いしたり、手紙のやり取りもおこなっている。電話やオンライン面会にも対応している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様と一緒に過ごして頂けるように配慮している。グループレクリエーション(トランプなど)集団レクリエーション(歌、風船バレーなど)を一人ひとりに合わせ関りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後についても入居者様、ご家族様の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに寄り添いながらコミュニケーションを図っている。ご本人様の意向をしっかりと受け止め、意思疎通が困難な方にはご家族様も含めた意向の把握に努め情報収集を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様、ご家族様、以前の入居施設などご本人様をよく知る方からの情報を頂きグループホームでの生活に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの過ごし方は行動、言動、体調管理の記録を細目に行い職員間で把握している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>1ヶ月から3ヶ月毎に見直しを行っている。カンファレンスを実施し、入居者様のニーズに合った計画を立てている。ご家族様のご意見やご要望を反映している。廿日市野村病院から理学療法士が毎月訪問し入居者様の個別に状態確認を行いその方に合った運動や体操のアドバイスを頂いている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者様個人のファイルがあり、ご本人の発言や行動記録、ケアプランに沿ってケアの実践、その日の職員間での気づきを記録、報告しカンファレンスに活用し介護計画（ケアプラン）に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様の状態やご家族様の意向に配慮しながら臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の施設との交流や町内の行事、小学校の行事参加をおこなっている。地域包括から認知症カフェの情報を頂き協力関係を築いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>1週間から1ヶ月に1回定期検診を行っている。主治医には経過を報告し、ご希望のご家族様には付き添いをして頂き直接主治医からご説明した頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から看護職員と介護職員の関係を密にしている。1ヶ月に1回協力医療関係のドクターと会議を行っており、日々のケアについての相談をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によるダメージを極力防ぐため、入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。また、ご家族様にも回復状況などの情報交換しながら退院支援に繋げている。退院前のカンファレンスなどにも参加し退院後のスムーズな支援ができるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者様、ご家族様のご意向を踏まえ、主治医、看護職、訪問看護師との連携をとり対応できるケアについて説明を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	緊急時の対応について初期対応や応急手当の勉強会を行い対応に備えている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアル作成し夜間想定、日勤想定 of 訓練を毎月行っている。地域と連携し近隣の施設と合同避難訓練を実施する。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご本人様の気持ちを大切に考え、さりげない声掛けを心掛け、分かりやすい言葉を用いて自己決定しやすい声掛けをするように努めている。法人内のサービス向上委員会に出席し言葉掛けの話し合いを行い職員に周知している。「目線を合わせて丁寧な言葉使い」を今期のテーマとしてグループホーム内で取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	細かな事でも複数の選択肢を提案して入居者様が自己決定できる場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の体調やお気持ちを尊重しそれに合わせ対応に心掛けている。散歩・ドライブ・好きな歌・DVD視聴・体操等工夫している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自己決定がしにくい入居者様には職員と一緒に考えてご本人様の気持ちに沿った支援を心掛けている。訪問美容で希望に添ったカットや毛染めをしてもらうように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けを職員と一緒にしている。季節の野菜を使ったメニュー等を一緒に考えていただいたり、どのように調理すればいいか伺いながら進めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	1日を通して手作りによるバランスの良 い食事を提供し、記録する事で職員間で 把握している。一人ひとりに合わせた食 事形態を提供している。水分摂取が少な い方については1日の水分トータル量を 記録し職員間で必要量を把握し意識付け を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分 でできる方には声掛けを行い、難しい方 には介助にて実践している。また、必要 に応じて歯科往診や1ヶ月に1回の歯科衛 生士の訪問を依頼して指導を頂きながら 適切なケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄リズムを行動や仕草で 確認し、食前食後以外にも様子観察、見 守りをしてなるべく自立した排泄をして 頂けるように支援している。夜間の排泄 を記録し職員で話し合い排泄の適切な時 間で声掛けができるように努めている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排便の確認を行っている。便秘気 味の方には食事や水分に注意し体操など 取り入れている。水分摂取量の少ない方 には、お好きな飲み物やスポーツ飲料の ゼリーを作り提供している。また、毎日 のラジオ体操や入居者様おひとりお一人 に応じたリハビリのプランがあり運動も 行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	日勤帯ではあるが、入居者様のタイミン グで入浴して頂くようにしている。冬季 は特に脱衣所の温度管理に注意してい る。入居者様の既往歴などを考慮し入浴 時間を調整している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングにソファ等置き休息できるようにしている。テラスやベランダでも気持ちよく過ごせるように椅子やテーブルを配置している。馴染みのある寝具やクッションなどご家族様に相談して安心して入眠して頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるように表を作成している。日付、名前を2重、3重に確認して服用して頂き変更があれば、その都度更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの嬉しい事や楽しい事をお聞きしてお好きな事をして頂いている。役割についても分担して無理なくして頂いている。食器洗い等食事の後片付け、洗濯物たたみ等それぞれに役割がある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者のご要望で散歩やドライブに出掛けている。馴染みのある場所に行かれたり、法人内のイベントに介護タクシーを手配しご家族様と一緒に出掛けられ楽しめる。公民館祭りにも参加し楽しめる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様、ご家族様の希望があれば財布を預かり金庫で保管している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様の希望があれば電話が出来るようにしている。ご家族様、ご友人様からの電話も積極的に受けている。年賀状やご友人様とのお手紙のやり取りもみられる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には日々の様子や誕生日の写真、賞状を展示し、リビングや廊下には季節が感じられるもの馴染みのあるものを展示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング前にソファを置いたり、テラスやベランダにもテーブル、椅子を置き談話スペースを設けている。事務所前にも椅子を置いて職員とも談話しやすい環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはご家族様にはタンス・椅子・テレビや写真など使い慣れた物を持参して頂くようお願いしている。ご主人様やご友人様の写真を置かれている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お部屋のなまえをお花や果物にしてご本人様にも分かりやすくしている。居室のタンスに衣類別の名前を貼りご本人様にも分かりやすく工夫をしている。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム南観音ひまわり

作成日 令和7年11月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	入居者様同士の交流や楽しみを共感できる場が少ない。	入居者様同士が趣味や楽しみを共感し活動の輪が広がる。	入居者様で同じ趣味や楽しみを持っている方の定期クラブ活動の開催。(習字・生け花)	6か月
2	19	入居者様のご家族様が直接行事参加される機会が少ない。	入居者様のご家族様が直接グループホームの行事に参加され自由に家族同士の相談やお話しができる機会を作る。	グループホームの行事への直接参加のお声掛けを行う。家族会の開催。	6か月
3	10	運営推進会議に家族様の参加が少ない。	運営推進会議にてご家族様のご意見を頂きグループホームの運営に反映していく。	ご家族様に運営推進会議への参加を手紙などでお知らせし、直接の参加が難しい場合は電話などで連絡して意見をお伺いする。	3ヶ月
4	3	グループホームが地域貢献が出来ていない。	地域包括支援センターが主催するイベントに参加し地域住民の認知症についての相談会の開催。	地域包括支援センター開催の観音認知症応援団が計画中のイベントで相談会を企画開催する。	6か月
5	35	災害対策にて地域の協力。	災害対策で他の事業所(介護施設以外)の協力を増やし合同の避難訓練の実施。	地域の介護施設、他の事業所の協力を経て合同避難訓練の実施に向けて声掛けやご案内をする。	1年
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。